



企業経営動向調査による景況感の現状および見通しについて

(平成28年9月実施)

百十四銀行（頭取 渡邊智樹）では、香川県内民間企業の景況感を把握するため、下記要領にてアンケート調査を実施し、その調査結果をまとめましたのでお知らせします。

【調査要領】

調査対象	香川県内に本社または主工場をもつ企業：253社
調査方法	郵送によるアンケート方式
調査時期	平成28年9月7日～平成28年10月3日
回答状況	有効回答企業数：161社 有効回答率：63.6%

調査委託先 一般財団法人 百十四経済研究所

香川県内企業経営動向調査による景況感の現状および見通しについて (平成 28 年 9 月実施)

～ 県内企業の景況感、2 期連続で上昇 ～

1. 現状(平成 28 年 7～9 月期の実績)

今期(平成 28 年 7～9 月期)の業況判断指数(BSI)は $\Delta 11.8$ となり、前期(平成 28 年 4～6 月期)実績の $\Delta 20.6$ から 8.8 ポイント上昇した。前年同期(27 年 7～9 月期)実績の $\Delta 10.7$ は 1.1 ポイント下回る水準である。産業別では、製造業が今期 $\Delta 14.1$ となり、前期実績の $\Delta 25.6$ から 11.5 ポイントの上昇。非製造業は今期 $\Delta 9.6$ となり、前期実績の $\Delta 15.4$ から 5.8 ポイント上昇した。

■ 今期業種別業況判断指数の増減状況(対前期)

<製造業>

上昇 : ①繊維製品、②木材・木製品、③化学工業・石油製品、④金属製品、⑤その他製造業

不変 : ①輸送用機械器具

低下 : ①食料品、②機械器具

<非製造業>

上昇 : ①建設業、②小売業、③運輸業

不変 : -

低下 : ①卸売業、②サービス業その他

2. 見通し(平成 28 年 10～12 月期の見通し)

来期(平成 28 年 10～12 月期)の業況判断指数(BSI)の見通しは $\Delta 5.0$ となり、今期(28 年 7～9 月期)実績の $\Delta 11.8$ から 6.8 ポイント上昇の見通しである。前年同期(27 年 10～12 月期)実績の $\Delta 3.1$ は 1.9 ポイント下回る水準である。産業別では、製造業が見通し $\Delta 5.1$ となり、今期実績の $\Delta 14.1$ から 9.0 ポイントの上昇。非製造業は見通し $\Delta 4.8$ となり、今期実績の $\Delta 9.6$ から 4.8 ポイント上昇の見通しである。

■ 来期業種別業況判断指数の増減状況(対今期)

<製造業>

上昇 : ①食料品、②木材・木製品、③金属製品、④その他製造業

不変 : ①化学工業・石油製品、②機械器具

低下 : ①繊維製品、②輸送用機械器具

<非製造業>

上昇 : ①卸売業、②小売業、③サービス業その他

不変 : -

低下 : ①建設業、②運輸業

3. 全体の概況

今期の香川県内企業の業況判断指数(BSI)は、緩やかな景気回復基調が続く中、季節的な需要の増加などを背景に、指数は、製造業、非製造業とも 2 期連続で上昇した。来期も、為替の動向や中国を始めとするアジアの新興国経済、世界経済の先行きに慎重な見方はあるものの、製造業、非製造業とも、指数は 3 期連続で上昇する見通しである。

【集計結果資料】

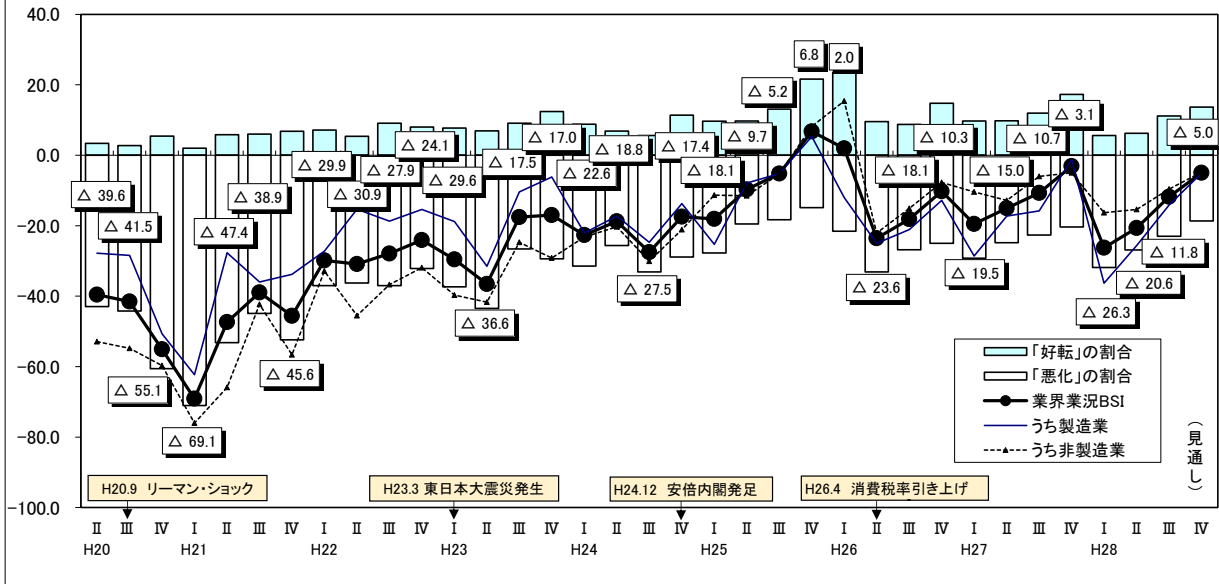
業界業況(BSI)の実績推移と見通し

()内は前回調査時の見通し

期	実績値				見通し			
	平成27年 1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	平成28年 1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
製造業	(△ 29.5)	(△ 15.6)	(△ 5.3)	(2.6)	(△ 25.6)	(△ 15.0)	(△ 9.8)	(△ 5.1)
	△ 28.6	△ 17.3	△ 15.8	△ 1.2	△ 36.3	△ 25.6	△ 14.1	
非製造業	(△ 15.4)	(△ 9.1)	(2.6)	(△ 4.8)	(△ 15.0)	(△ 12.5)	(△ 12.8)	(△ 4.8)
	△ 10.4	△ 12.8	△ 6.0	△ 5.0	△ 16.3	△ 15.4	△ 9.6	
全産業	(△ 22.4)	(△ 12.3)	(△ 1.3)	(△ 1.3)	(△ 20.4)	(△ 13.8)	(△ 11.3)	(△ 5.0)
	△ 19.5	△ 15.0	△ 10.7	△ 3.1	△ 26.3	△ 20.6	△ 11.8	
前年同期比(差異)	△ 21.5	8.6	7.4	7.2	△ 6.8	△ 5.6	△ 1.1	(△ 1.9)

業界業況(BSI) 実績推移と見通し (平成28年9月実施)

(「好転」-「悪化」、%ポイント)



■業界業況判断指数 (各期比較)

業種	実績値					見通し				増減			
	今期の前年同期 (H27.7-9月)	来期の前年同期 (H27.10-12月)	前期 (H28.4-6月)	今期 (H28.7-9月)	来期 (H28.10-12月)	今期(H28.7-9月)		来期(H28.10-12月)		前期比		前年同期比	
	①	②	③	④	⑤	④-③	④-①	⑤-④	⑤-②	④-③	④-①	⑤-④	⑤-②
製造業	△ 15.8	△ 1.2	△ 25.6	△ 14.1	△ 5.1	11.5	1.7	9.0	△ 3.9	△ 6.7	13.3	33.4	14.9
食料品	△ 20.0	11.8	0.0	△ 6.7	26.7	△ 6.7	13.3	33.4	14.9	△ 6.7	13.3	33.4	14.9
繊維製品	△ 44.4	△ 60.0	△ 50.0	△ 30.0	△ 40.0	20.0	14.4	△ 10.0	20.0	△ 44.4	△ 60.0	△ 50.0	△ 30.0
木材・木製品	16.7	0.0	△ 42.9	16.7	33.3	59.6	0.0	16.6	33.3	16.7	0.0	16.6	33.3
化学工業・石油製品	△ 16.7	16.7	△ 28.6	△ 16.7	△ 16.7	11.9	0.0	0.0	△ 33.4	△ 16.7	16.7	0.0	△ 33.4
金属製品	△ 22.2	10.0	△ 50.0	△ 20.0	△ 10.0	30.0	2.2	10.0	△ 20.0	△ 22.2	10.0	10.0	△ 20.0
機械器具	9.1	25.0	0.0	△ 18.2	△ 18.2	△ 18.2	△ 27.3	0.0	△ 43.2	9.1	25.0	0.0	△ 43.2
輸送用機械器具	△ 20.0	△ 20.0	△ 20.0	△ 20.0	△ 40.0	0.0	0.0	△ 20.0	△ 20.0	△ 20.0	△ 20.0	△ 20.0	△ 40.0
その他	△ 20.0	△ 6.7	△ 35.3	△ 13.3	0.0	22.0	6.7	13.3	6.7	△ 20.0	△ 6.7	13.3	6.7
非製造業	△ 6.0	△ 5.0	△ 15.4	△ 9.6	△ 4.8	5.8	△ 3.6	4.8	0.2	7.1	21.4	△ 7.1	21.4
建設業	7.1	21.4	△ 7.1	21.4	7.1	28.5	14.3	△ 14.3	△ 14.3	7.1	21.4	△ 7.1	21.4
卸売業	△ 15.8	△ 16.7	△ 23.5	△ 33.3	△ 16.7	△ 9.8	△ 17.5	16.6	0.0	△ 15.8	△ 16.7	△ 23.5	△ 33.3
小売業	9.1	△ 10.0	△ 16.7	0.0	4.3	16.7	△ 9.1	4.3	14.3	9.1	△ 10.0	△ 16.7	0.0
運輸業	△ 30.0	△ 30.0	△ 33.3	△ 22.2	△ 33.3	11.1	7.8	△ 11.1	△ 3.3	△ 30.0	△ 30.0	△ 33.3	△ 22.2
サービス業 その他	△ 11.1	5.6	△ 5.0	△ 15.8	0.0	△ 10.8	△ 4.7	15.8	△ 5.6	△ 11.1	5.6	△ 5.0	△ 15.8
合計	△ 10.7	△ 3.1	△ 20.6	△ 11.8	△ 5.0	8.8	△ 1.1	6.8	△ 1.9	△ 10.7	△ 3.1	△ 20.6	△ 11.8

【参考】その他各種判断指数

項目別	選択肢	平成27年				平成28年 (見通し)			
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
受注高判断	(増加・不変・減少)	△ 19.5	13.3	26.3	29.3	△ 16.3	0.0	7.7	23.1
生産高判断	(増加・不変・減少)	△ 15.6	20.0	32.9	25.6	△ 18.8	2.4	11.5	20.5
売上高判断	(増加・不変・減少)	△ 19.5	2.0	25.8	26.5	△ 5.6	△ 1.9	9.9	19.3
在庫高判断	(増加・不変・減少)	△ 16.2	3.3	3.1	6.2	△ 1.9	13.1	2.5	6.8
資金繰り判断	(好転・不変・悪化)	△ 4.5	△ 6.5	3.8	4.9	0.0	3.1	4.3	1.9
銀行借入判断	(増加・不変・減少)	△ 2.6	△ 4.6	△ 4.4	△ 1.2	△ 1.9	2.5	1.9	△ 11.2
設備投資判断	(増加・不変・減少)	11.7	3.3	9.4	14.8	13.8	5.0	15.5	18.6
雇用状況判断	(増加・不変・減少)	△ 3.9	19.0	△ 0.6	0.0	9.4	17.5	0.6	6.8
採算判断	(好転・不変・悪化)	△ 8.4	△ 6.5	6.9	12.3	△ 3.8	△ 3.1	4.3	6.8

4. 経営上の問題点

「経営上の問題点」の推移

平成27年/10～12月期			平成28年/1～3月期			平成28年/4～6月期			平成28年/7～9月期		
順位	項目	構成比	順位	項目	構成比	順位	項目	構成比	順位	項目	構成比
1	求人難	22.0%	1	求人難	21.9%	1	求人難	17.3%	1	求人難	18.7%
2	設備老朽化	14.5%	2	過当競争	15.5%	1	販売(受注)不振	17.3%	2	設備老朽化	15.4%
3	過当競争	14.2%	3	販売(受注)不振	14.0%	3	設備老朽化	16.4%	3	過当競争	15.1%
4	販売(受注)不振	13.1%	4	設備老朽化	13.4%	4	過当競争	13.9%	4	販売(受注)不振	14.8%
5	原材料(仕入)高	12.2%	5	製品(販売)安	10.9%	4	製品(販売)安	13.9%	5	製品(販売)安	13.0%
6	製品(販売)安	10.4%	6	原材料(仕入)高	8.2%	6	賃金上昇	7.1%	6	賃金上昇	8.2%
7	賃金上昇	5.6%	7	賃金上昇	7.3%	7	原材料(仕入)高	6.8%	7	原材料(仕入)高	7.9%
8	その他	2.7%	8	その他	1.8%	8	その他	2.5%	8	環境対応	2.4%
9	環境対応	2.4%	8	環境対応	1.8%	9	環境対応	1.5%	9	その他	2.1%
10	設備不足	1.2%	8	設備不足	1.8%	10	設備不足	0.9%	10	設備不足	0.9%
11	金利負担増	0.9%	11	金利負担増	1.2%	10	回収条件の悪化	0.9%	11	回収条件の悪化	0.6%
11	借入れ難	0.9%	11	回収条件の悪化	1.2%	10	借入れ難	0.9%	11	借入れ難	0.6%
13	設備過剰	0.0%	13	設備過剰	0.6%	13	金利負担増	0.6%	13	金利負担増	0.3%
13	回収条件の悪化	0.0%	14	借入れ難	0.3%	14	設備過剰	0.0%	14	設備過剰	0.0%

企業経営動向調査概要

- ① 調査時期：平成28年9月7日～10月3日
(毎年3・6・9・12月実施)
- ② 調査事項：受注高、生産高、売上高、在庫高、資金繰り、銀行借入、設備投資、雇用、採算、業界業況の各項目別BSI、売上高の増加・減少要因、設備投資目的、経営上の問題点
- ③ 調査方法：景況感についての調査
前期(平成28年4～6月)と比較した今期(平成28年7～9月)の実績及び今期(平成28年7～9月)と比較した来期(平成28年10～12月)の見通しを調査。
- ④ 調査対象：県内に本社または主工場を持つ主要企業253社
- ⑤ 有効回答率：63.6%(有効回答数161社)

業種別回答数及び構成比

業種	回答社数	構成比
製造業	78	48.4%
食料品	15	9.3%
繊維製品	10	6.2%
木材・木製品	6	3.7%
化学工業・石油製品	6	3.7%
金属製品	10	6.2%
機械器具	11	6.8%
輸送用機械器具	5	3.1%
その他	15	9.3%
非製造業	83	51.6%
建設業	14	8.7%
卸売業	18	11.2%
小売業	23	14.3%
運輸業	9	5.6%
サービス業 その他	19	11.8%
合計	161	100.0%

企業経営動向調査について

BSIとは

Business Survey Index の略で、企業動向の現状と先行き見通しに対する企業経営者の判断を数字であらわした指数。次の算式により求める。

$$BSI = X - Y \quad X = \text{「好転（増加）」と回答した企業の割合（百分率）}$$

$$Y = \text{「悪化（減少）」と回答した企業の割合（百分率）}$$

※回答は、①好転（増加）、②不変、③悪化（減少）から1つ選択

季節的変動要因

当アンケート調査は、調査月を含む直前3か月実績と調査月の翌月からの3か月見通しについて、その直前の3か月と比較することから、一般的には、年間の閑散月2月、8月を含む1～3月期と7～9月期にはBSIが低下し、逆に4～6月期と10～12月期は、上昇する傾向がある。

（百十四経済研究所 後藤）